「工場内の監獄化は未だ解決せず、スパイは相変らず工場全帯
を監視しある。経営者は工場内浸入と会社の特別で従業員を苦しめ争議は
極力に高潮し再起して、我等は悪魔を戦はんとする事運が熱してゐる今
日まで今晩十数個の所に分解場に出て各の宣伝会総会は開かれ既に全
勝場で六十数回に亘る之等の集会を

(1) 争議再起
裏切者の問題

(2) 裏切者の完全排撃

(3) 賃銀協定其の他について従来捧げ来つた犠牲は余りに大き
過ぎると「職工側の要求を早く上げない」。

(4) 出来る総ての再燃職問題

皆んなする法律が出来れば、之等の集会に出る中に一回全部を
見る筈である」

全日本労農大衆の視聴
此の度が争議に集る。

―応援の手を緩めるな
続々来る第二次応援―

「従業員長の報告」

争議体験を開いて一時応援の手をゆるめたかに見えた全日本の同志は争議
其の後の猛なる闘争と工場内従業員の再起同盟の意気を知るや全国的
第二次応援の促進運動を起し、仲間各因工場の百円を筆頭に傑作
出依存品川駒込鉄工部、埼玉県労働者より応援金は送
られ日本農民組合千葉県聯合会の三重県支部よりは「米送れ」の
檄電があり尚ほ自ら不屈なる斗を聞いつゝある三重県森林
労働者の争議団は代表を送る等評議会近畿部に幸福さん。